

「分析・操作の対象としての人間」 と「人格としての人間」

01ZZ101(大学院共通科目)(1単位)

人文社会科学研究所 哲学・思想専攻教授
桑原 直巳 先生

10月18日(土)・19日(日) 9:00~17:00

場所:人文社会系棟 8F B821

(哲学・思想専攻 教員談話室)

授業概要:

「分析・操作の対象としての人間」と「人格としての人間」とのそれぞれの意味について確認し、科学的研究と技術革新の中で両者の乖離の危険性を認識し、特に、科学技術の進歩に関わる研究者が「人格としての人間」に対する尊敬を保ち続けるための具体的方途を明らかにする。

授業計画:

- (1) 「分析・操作の対象としての人間」と「人格としての人間」とについての哲学的概念を知るための哲学史的講義
- (2) 受講者各自の専門分野において、「分析・操作の対象としての人間」と「人格としての人間」とが乖離する危険性について討論する。

先着20名のみ受講可能

受講希望の方は、10月3日(金)までに以下に学籍番号・氏名・所属をご連絡ください。

連絡先 : 哲学・思想専攻事務室

029-853-4133

Eメール : senko-jimu@logos.tsukuba.ac.jp